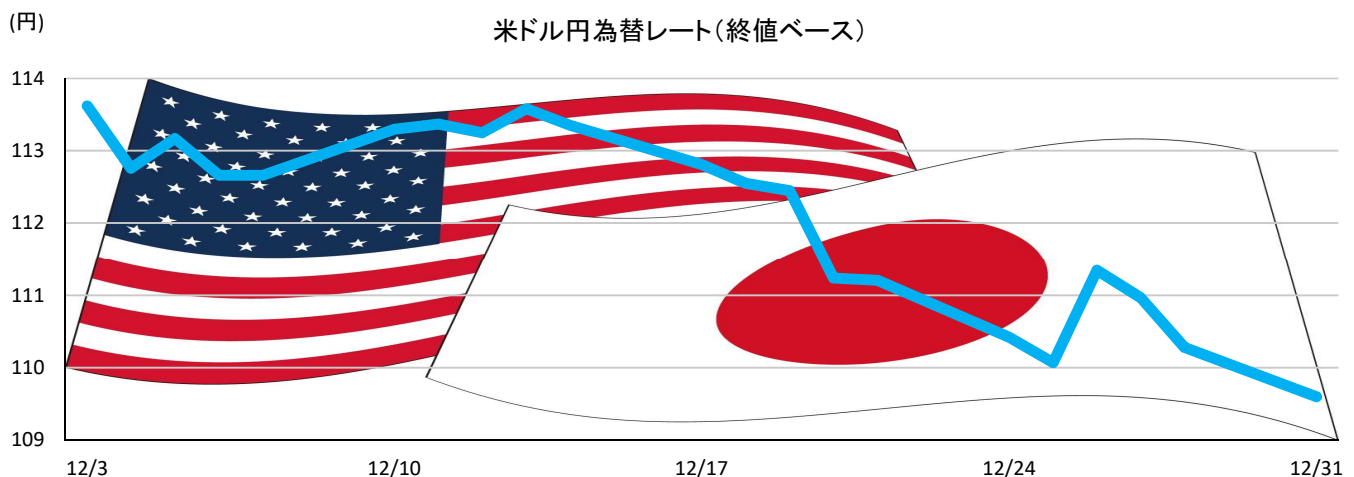


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 12月のドル円相場は113円後半～109円半ばで推移。米中首脳会談において、90日間の追加関税猶予で合意したことでドル高が先行したが、合意内容が期待外れだったことで徐々にドル売りに傾いていった。さらに中国ファーウェイのCF0逮捕が報じられてから、リスク回避の動きが広がりを見せ、安全資産とされる円買いが進んだ。またFOMC前にはトランプ米大統領が、利上げをけん制する発言が伝わるとドル売りが加速。クリスマス休暇中の薄商いで乱高下したが、米政府機関の閉鎖が年明けまで継続することや主要閣僚の解任が報じられるなど、トランプ政権への不安もあり円高ドル安の流れのまま2018年を終えた。



EXTRA VISION

今後の展開: 年始から米アップルが中国経済の減速を理由に業績を下方修正したことでNYダウが急落。世界経済減速懸念からドル売りが加速し、年始の薄商いと相まって一時104円台まで円高が進行。その後は買い戻しが入り、109円台を回復するなど大きな動きとなっているが、現時点で積極的にドルを買う材料に乏しく、イギリスのEU離脱問題やイタリア財政問題もあり、リスク回避の動きには注意が必要だ。このように世界経済は問題が山積だが、まずは米中貿易問題が大きな流れを決めてくるのではないだろうか。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
1 / 23 (水)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
1 / 24 (木)	21 : 45	E U	欧州中央銀行 (E C B) 政策金利	☆☆☆☆
1 / 30 (水)	22 : 30	U S	米GDP速報値	☆☆☆☆
1 / 31 (木)	4 : 00	U S	米連邦公開市場委員会 (F O M C)	☆☆☆☆☆
2 / 1 (金)	22 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
2 / 7 (木)	21 : 00	G B	英中銀政策金利	☆☆☆☆
2 / 14 (木)	8 : 50	J P	日GDP速報値	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。